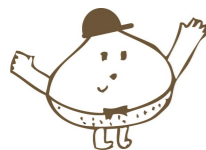


# ☆ 崎山地区まちづくり協議会会員紹介 ☆

○ 会長 古里 幸一      ○ 副会長 今道 全一郎

荒木 一郎      小林 勝宣      山本 留里子      山田 敏美  
 山端 信子      木下 秀善      久保 満弘  
 中島 鉄也      藤田 龍一郎      橋本 憲治  
 事務局長 山口 頼子      事務局員 奥野 貴子

昨年度から崎山地区まちづくり協議会は『0からスタート』で頑張っています。ほとんどの方が継続して今年度も活動を行います。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、この2年はいろんなイベントが中止になりました。それでも何か崎山のためにできないか？と頑張ってきた皆さんです。新しくメンバーも加わりました！今年度も崎山地区まちづくり協議会、住民に寄り添って活動していきますのでよろしくお願いいたします。



## モヤゴッ畑・かぼ"ち"ゃの苗植えします！



モヤゴッ畑に今年も、かぼちゃの苗を植えます。崎山児童クラブの子ども達が育てた苗を、子ども達と一緒に植えませんか？皆さんの参加、お待ちしております(\*^\*)

日時： 6月11日(土) 10時現地集合

場所： モヤゴッ畑(ジンデン水道横)

せいゆう荘さんを上げて行ったところ

※水分は用意しますが、熱中症対策よろしくお願いたします。



## 崎山地区人口統計表 (令和4年4月30日 現在)

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区
男	72	75	45	55	56	53	76	97	95	39	43
女	86	83	62	73	66	64	85	109	92	53	52
合計	158	158	107	128	122	117	161	206	187	92	95

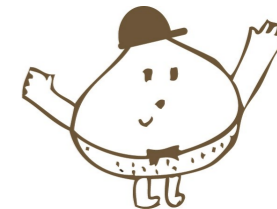
崎山地区全体 男 706名 女 825名 計 1,531名 (先月比±0名)

崎山地区まちづくり協議会 事務局 集落支援員 奥野

五島市役所 崎山出張所内 TEL 0959-73-6389

崎山地区まちづくり協議会

# まち協通信 第25号



## 令和4年度 事業交付金一覧

	事業名	交付金(補助金)	詳細
1	街路灯設置事業	340,000	上崎山5基・下崎山10基・長手5基
2	電気料金補助事業	560,000	上崎山175,000円・下崎山310,000円・長手75,000円
3	敬老会開催事業	555,000	上、下崎山 459,000円・長手96,000円
4	夏まつり開催事業	100,000	夏まつり開催経費補助
5	安全なわが街づくり推進会議運営事業	100,000	年4回交通安全他経費補助
6	文化行事補助事業	200,000	チャンココ・ヘトマト運営経費補助
7	事務局運営事業	200,000	まち協通信印刷・事務用品等購入費
8	高齢者と子ども達の絆事業	145,000	カボチャ・ハーブの種等購入費
9	買い物支援事業	50,000	買い物支援活動費補助
10	自然環境保護活動事業	150,000	清掃活動費・講演会補助
	合計	2,400,000	

今年度は、新規事業を2つ計画しています。「買い物支援事業」と「自然環境保護活動事業」です。買い物支援事業では、買い物に困っている高齢者を対象に買い物代行(代わりに買ってくる)を考えています。自然環境保護活動事業では、不法投棄や海洋ゴミの問題解決、清掃活動をしていきます。「高齢者と子ども達の絆事業」モヤゴッ畑・ハーブ園も継続していきます！もっと皆さんと楽しいことができればと思っていますので、参加・ご協力よろしくお願いたします(\*^\*)

## ★ 長手～澄瀬通学路草払い行います。★

昨年度も実施しました、子ども達の通学路の草払いと児童遊園の草取りを行います。子ども達・セニアカー乗車の高齢者・崎山住民のため、皆様のご協力をお願いします。梅雨入り前に、すっきりさせましょう！

日時：6月5日(日)9時～ 崎山出張所前集合

令和4年6月1日 発行



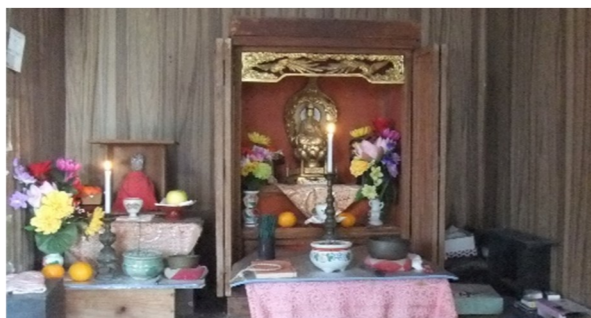
# 鬼岳火山群の溶岩台地（ジオ）に生きる “さっきゃまびと”

Vol.10  
2022.6.1 発行  
発行責任者  
崎山地区まちづくり協議会  
会長 古里 幸一  
090-2393-1990

## ・・・消えようとしている上崎山の伝統（1）・・・



「からっんのかえっころ、ひのたけんかんさまんのはいっぐっにあっかんのんさんあたっちゃ、まっくろなったけんあがっとなおとろひかった」針村観音堂・日の嶽神社周辺は里山を形成しており、外灯の無い時代は暗闇だったことが想像できる。「こどもんころはわらばもってきてたたっ、あひなかじょっばつくてあそんだ。わらやにほんぐっか



おやんすいかとかえっきていえあつたっばもってきたつったあひなかはいえもってかえったぞ。二三才うえんせんぱいとこ

ままわししたってたのひかった。」これは私の大先輩である赤崎繁雄さまの思い出で。

(さっきゃま弁を想像してもらいたく、取ってひらがな文字とさせていただきます。)

さて、大先輩たちの遊びの場でもあった現在の観音様。

お年寄りたちの集いも無くなり読経を聞くことも無くなったが、観音様の縁日17日には(旧暦17日奈良の東大寺と同じ、18日としているのは総本山長谷寺)今でも、母親の跡を継いだ赤崎さまが供物と灯明・焼香を続けている。隣の佐々野さまも灯明・焼香をしている。写真右の観音様は明治12年(1879)11月吉日 本国富江佛師 歳65歳 尾寄初太郎 歳17才 小寄来太郎 二人組と蓮華座に墨書きされており、今から142年前の観音様である。五島藩崎山掛り・福江県・長崎県第8大区・南松浦郡崎山村・福江市・五島市等と行政区分が変わっても静かに崎山に見守ってくれている。

堂宇は上崎山町で改修はしているものの、集う村人が居なくなった堂宇の中で観音様はどんなお気持ちなのだろうか。写真右の黒ずんだ観音様は明治12年前から針村に居られたはずであり、観音様縁日17日の集い・読経は上崎山町の伝統として遺していきたい。上崎山町の伝統・文化をこれ以上消滅させたくないものです。

【変わった風習】崎山集落はかつて禅宗が入り、その後、浄土宗・浄土真宗の檀家が増えて行った事実があります。里村には大日如来様もいますが、観音様と阿弥陀仏様が主です。なのに、崎山地区は観音様の前でも南無釈迦牟尼仏であるはずの称名が南無阿弥陀仏と唱え、浄土真宗の正信偈を読経するので。これは、崎山地区の野辺送りにも見られた変わった風習の一つといえます。

社会福祉法人さゆり会は、崎山燈瀬自然を守る会”崎山まちづくり協議会”を応援しています。



## ちょっとここで、お勉強♪♪♪



本来は自然の仏様  
宇宙の本体をあらわす  
大日如来様



人々の苦しみを除いたり、  
願い事を聞いてくれる  
慈悲深い仏様  
観音様



人々が息を引き取った瞬間、  
光のごとく、ジェット機のごとくこの世に来て、  
死者を極楽に連れて行く  
阿弥陀仏様

仏様が立っていたり、座っていたりするのは決してどうでもいいことではないそうです。座っている仏様は、じっと浄土で瞑想中の姿であり、立っている仏様は、衆生救済に出発する姿だそうです。なので、宇宙の本体をあらわす大日様はいつも座っていますが、気楽に衆生救済に行かれる観音様はほとんどいつも立っています。(崎山の観音様は座っていますが) 阿弥陀様は奈良時代から平安の中頃までは多く座っていましたが、平安時代の末から御名を呼ぶ民衆の悲しげな叫び声に、安閑として浄土に座っていることができず、立上りおんみずから悩める民衆の下に来るようになった。

座像と立像の違いには、このような理由があったんですね(\*^▽^\*)

## 第1回 地元の自慢を 何でも 語ろう会 崎山編

6月18日(土) 15時~17時  
場所 崎山地区公民館 1階和室  
対象 崎山地区にお住まいの方  
又は出身の方

申し込み 不要(当日、会場にお集まりください)

お願い 参加される方はマスク着用、手指のアルコール消毒にご協力ください

わたしの地元のココがすごい！ココが好き など、魅力をワイワイ語り合う会です。景色や料理、人、風習、伝統…何でも自由に語り合いましょ！定番のお話はもちろん、わたししか知らないとおきの話をお聞かせてください。

